

令和8年7月13日

高校生がAIで福島の未来を考える「ふくしまAI部」始動！

～ AI・データ活用を学び、地域課題に挑戦する高校生を募集します ～

高校生がAIやデータ活用を学び、地域課題の解決に向けたアイデアづくりに挑戦する新たな人材育成プロジェクト「ふくしまAI部」を開始します。

本プロジェクトでは、AIの基礎学習からデータ分析、地域課題探究、地元企業との交流、成果発表まで、全10回程度の活動を予定しています。福島のまちをもっと知り、AIを使って未来を考えたい高校生の参加を募集します。

記

- 1 事業名 ふくしまAI部プロジェクト
- 2 対象 市内または県北地域の高等学校に在学する生徒
- 3 募集人数 25名
※申込者数が募集人数を超えた場合は、申込内容を確認のうえ、選考により参加者を決定します。
- 4 募集期間 令和8年7月13日（月）から8月20日（木）まで
- 5 主な活動内容
 - ・AIの基本的な使い方、活用事例、利用時の留意点を学ぶ
 - ・「福島市データブック」等を活用し、データから地域の特徴や課題を読み解く
 - ・地元企業への訪問や意見交換を通じて、地域企業の取組や課題、魅力への理解を深める
 - ・チームで地域課題を取り上げ、AIを活用して原因や影響を整理し、解決に向けたアイデアの検討や試作に取り組む
 - ・活動成果や提案内容をまとめ、成果報告会で発表する
- 6 特徴
 - ・「学ぶ」だけでなく、「福島を知る」「企業と出会う」「チームで考える」「発表する」までを一体的に経験できる実践型のプログラムです。
 - ・若い世代が地域課題を自分ごととして捉え、AIやデータを活用して考える力を育むことで、将来の地域DXを担う人材育成につなげます。
- 7 主催 ふくしまデジタル推進協議会 ふくしまAI部プロジェクト
- 8 その他 募集方法や活動場所等の詳細は、市ホームページ等でお知らせします。



◀ 詳細・お申し込みはこちら

担当：デジタル改革室
デジタル推進課 デジタル推進係
室長兼課長 蛭田 係長 小沢
電話 024-572-3943（直通）

初心者、大歓迎！
挑戦する高校生になろう。

地域の魅力を発信する



面白そうかも！
そう思ったら、
もう部員候補！

ふくしま AI部員 募集中！

AIを使って福島の今を読み解こう

データから見える、
福島市の「今」と「未来」



AIを使って地元のデータを読み解き、
自分たちの街の課題に挑む。それがふくしまAI部です。

授業じゃないから**失敗OK**。

仲間と一緒に、**福島市の未来**を考えよう。

仲間と一緒に
ワクワクする
学びを！

この部でできること

01



AIツールを使って、
課題を解決する力が身につく

02



地域のリアルな課題に、
自分なりの答えを出せるようになる

03



企業・行政の前で、
自分の言葉で提案できるようになる



基本情報

📅 期間

2026年9月～2027年2月(全10回)

🕒 日時

※詳細はHPへ

📍 会場

※詳細はHPへ

👤 対象

福島市・県北エリアの高校生

👥 定員

25名

💰 参加費

無料

👜 持ち物

ノートパソコン
※各学校の授業で利用している
自身の端末をご準備ください。

🔗 使用ツール

Google Workspace
(Gemini・NotebookLM)

詳細・お申し込みは
＼こちらから／



👤 保護者の方へ

本プログラムは、高校生がAIを活用しながら地域課題に向き合う実践的な学びの場です。
生徒が安心して挑戦できるサードプレイスとして、お子様のキャリア意識を育みます。



カリキュラム一覧

AIとデータで
福島未来をつくる10回!

回	月	タイトル	概要
第1回	9月	AIこんにちは	AIって何?を体験で学ぶ。質問・翻訳・要約を試しながら、使い方と間違いの見抜き方を知る。
第2回	9月	カスタムAIをつくる	自分だけのAIを設計して作る。 「福島のことを何でも教えてくれるAI」をチームで完成させる。
第3回	10月	福島を読み解く	福島市のデータをAIに読み込ませて分析。 「福島のここが意外だった」をグループで発表する。
第4回	10月	読み解いたことを形にする	調べた内容をスライドや図でわかりやすく表現。 AIで画像・動画も生成して発信力を高める。
第5回	11月	現場を知る・記録する	地元企業を訪問してインタビュー。 訪問内容と感想をレポートにまとめる。
第6回	11月	課題からテーマを決める	前半の学びを振り返り、 「自分たちが解決したい福島の課題」をチームで決定する。
第7回	12月	テーマを深掘りする	課題の原因や影響を整理して「課題マップ」を作る。
第8回	1月	解決策を考える	アイデアをたくさん出してAIで形にする。 提案書や模擬ホームページなどを実際に作る。
第9回	1月	伝える準備をする	発表の流れを組み立てスライドを完成させる。 リハーサルで発表の練習を行う。
第10回	2月	成果発表	企業・行政の前で成果を発表。 半年間の学びを振り返り修了証を受け取る。



よくある質問 (FAQ)



Q1

AIやパソコンの知識がなくても大丈夫ですか？

A

大丈夫です。参加者全員がゼロからスタートすることを前提に設計しています。必要な操作は一緒に確認しながら進めます。

Q2

当日必要な持ち物がありますか？

A

各学校の授業で利用している自身のノートパソコンを必ずご持参ください。筆記用具もあるとスムーズです。

